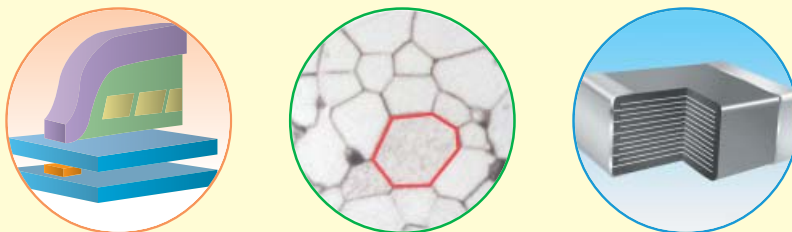


## ABOUT TDK

TDKは、世界初の磁性材料フェライトの事業化を目的として1935年に設立され、「創造によって文化、産業に貢献する」という創業の精神に基づき、様々な製品の開発と商品化に取り組んでまいりました。

今後も、TDKの強みである材料技術とそれを活かすプロセス技術をさらに高め、真にお客様の求める独創的な新製品をタイムリーに提供する“**e-material solution provider**”を目指します。

### 表紙について



**GMRヘッド:** HDD用GMRヘッドの断面イメージ図。HDDの記録面(ハードディスク)の情報を再生するGMRヘッドのスピナルバルブ膜は、厚さ数ナノメートルの膜を何層も重ね合わせて作られています。またGMRヘッドは高速回転するハードディスク上で約10ナノメートルの高さで動作することから、ここにはTDKの超精密プロセス技術、制御技術及び材料技術が駆使されています。

**フェライト:** フェライト材料の結晶。フェライトは、酸化鉄を主原料とした磁性材料で、粉末状態のものを型に入れ焼き固めればトランスのコア(磁心)に、また磁界を加えることで永久磁石となります。TDK創業の原点であるフェライト材料開発には、材料技術、粉末・成形技術及び焼成技術等が発揮されています。

**コンデンサ:** 積層セラミックチップコンデンサの断面イメージ図。この積層チップコンデンサは、誘電体と電極を数ミクロンレベルで交互に重ね合わせて作られています。TDKの量産品の中で最も小さなものは0603(0.6mm×0.3mm)と小さく、小型電子機器に適しているとともに、長寿命で高信頼性を誇っています。ここにも、TDKの強みである材料技術、厚膜積層技術、焼成技術等が活かされています。

### 見直しに関する留意事項

このアニュアルレポートに記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見直し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外のすべての事実は、当社が現在入手している情報に基づく、アニュアルレポートの作成時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見直し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見直し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性があります。その原因となりうるリスクや要因は多数あります。すなわち、当社グループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス・ビジネス市場は変動性が激しく、加えて当社グループは国内のみならず海外においてもビジネスを行っているため、技術、需要、価格、競争状況、各地の経済環境の変化、為替レートの変動、その他の多くの要因が、業績に影響を与えることがあります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。



## 目 次

連結財務ハイライト	2
ステークホルダーの皆様へ	3
Exciting108の進捗状況	8
環境保全に関する取り組み	9
Understanding TDK Today	10
部門別売上高	16
営業の概況	17
取締役・監査役及び執行役員	24
財務の概況	25
過去10事業年度における主要な財務数値及び指標	38
連結財務諸表	39
投資関連情報	65